

事業所名

児童デイサービス シエスタ

支援プログラム (児童発達支援)

作成日

2024 年

11 月

1 日

法人 (事業所) 理念		児童ファースト 社会性を育む							
支援方針		自立を育む手助け 将来を見据えた支援							
営業時間		平日	10 時	30 分から	13 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	心身の健康状態の把握と安定を図るとともに、基本的な生活習慣の形成を支援する。食事・睡眠・排泄などの生活リズムを整え、手洗いや食事動作、着替え等の日常生活に必要なスキルの習得を促す。また、安心して過ごせる環境づくりを行い、自分でできるを少しずつ増やしながら身辺自立の力を育てる。							
	運動・感覚	遊びを通して身体機能の発達と感覚の育ちを促す。歩く・走る・跳ぶなどの基本的な運動や、手指を使った活動を取り入れ、全身および微細運動の発達を支援する。また、砂遊びや水遊び等の感覚活動を通して触覚・前庭感覚・固有感覚の経験を豊かにし、自分の体の使い方の理解を深める。個々の発達段階や感覚特性に配慮しながら、安心して活動に参加できる環境を整える。							
	認知・行動	認知・行動領域では、遊びや体験を通して物事の理解力や思考力の基礎を育てる。色や形の分類、順序づけなどの活動を取り入れ、認知機能の発達を促すとともに、絵カード等を用いて見通しを持って行動できるよう支援する。また、順番を待つ、簡単なルールを守るなどの経験を通して行動調整の基礎を養い、安心して活動に取り組める環境づくりを行う。							
	言語 コミュニケーション	言語の理解と表現の基礎を育てるとともに、人とのやり取りの楽しさを感じられるよう支援する。簡単な指示理解や語彙の習得を促し、模倣や遊びを通して発語や表現力の向上を図る。また、指差しやジェスチャーなどの非言語コミュニケーションも活用し、安心して自分の思いを伝えられる環境を整える。							
	人間関係 社会性	安心できる関係の中で他者との関わりの基礎を育てることを目的とする。職員との信頼関係を基盤に、やり取り遊びや模倣活動を通して対人関係の基礎を養う。また、簡単なルールのある活動や集団での経験を通して、順番を待つことや他者と関わる楽しさを感じられるよう支援する。さらに、自他の感情に気づき、適切に表現する力の育成を図る。							
家族支援		保護者の不安や負担の軽減を図るとともに、児童の特性や関わり方についての理解を深められるよう支援する。連絡帳や面談などを通して日々の様子を共有し、家庭と事業所が連携した一貫性のある支援を行う。また、子育てに関する相談対応や具体的な関わり方の助言を行い、家庭での支援力の向上を目指す。さらに、必要に応じて関係機関や制度の情報提供を行い、安心して子育てができる環境づくりを支援する。				移行支援		保育園・幼稚園や小学校への移行に向けて、児童が新しい環境に安心して適応できるよう支援する。見学や体験の機会を設けるとともに、集団生活に必要な基本的なスキルの習得を促す。また、関係機関との連携を図り、発達状況や支援方法の引き継ぎを丁寧に行うことで、切れ目のない支援体制を構築する。さらに、保護者の不安に寄り添いながら、安心して次のステージへ移行できるよう支援する。	
地域支援・地域連携		保育園や幼稚園、医療・福祉機関等と連携し、一貫した支援体制の構築を図る。関係機関との情報共有やケース会議を通して支援方針を統一するとともに、地域資源を活用した活動を取り入れ、児童の社会参加の機会を広げる。また、就学に向けた情報提供や引き継ぎを行い、切れ目のない支援を目指す。				職員の質の向上		研修やケース検討を通して専門性の向上を図るとともに、支援の質の均一化とチームの強化を目指す。内部研修や外部研修に参加を促し、障害特性や支援技術に関する知識の習得を進める。また、日々の支援の振り返りや情報共有を徹底し、適切な支援方法の見直しを行う。更に、倫理意識の向上や虐待防止の取り組みを推進し、安心・安全な支援体制の構築に努める。	
主な行事等		季節に応じた行事や集団活動を通して、児童が楽しみながら多様な経験を積めるよう支援する。誕生日会や季節行事、制作活動や体験活動などを取り入れ、他児との関わりや社会性の育成を図る。また、児童の発達段階や特性に応じた環境調整を行い、安心して参加できるよう配慮するとともに、達成感や自己肯定感を育む支援を行う。							